



# スマート遊技機 ホール団体執行部説明会

令和4年5月19日（木）





## スマート遊技機とシステム構成について

# 1. スマート遊技機の基本要件

## 経緯と要件

スマート遊技機は、ギャンブル等依存症対策強化の一環として、改正された規則（平成30年2月施行）により、開発可能となった

### 【目的】

「過度な射幸性の監視と抑制」を目的に、「出玉情報等を容易に確認できる遊技機の開発・導入」

射幸性が過度に高まることを防止することで、金額、遊技時間、遊技回数を適正化していく。

### 【要件】

「出玉情報等を容易に確認できる遊技機」の要件は、

- ① 出玉情報等を一元的に確認できるシステムに接続する。
- ② 正確に出玉を把握するために、物理的な遊技球等を使用せず、遊技球等の数を電磁的に記録する。

## 2. 基本構想

- 「スマパチ」用の専用ユニットと「スマスロ」用の専用ユニットの共通化
- 既存のCRユニットのインフラの使用（原則、光回線）
- 出玉情報等（自主規制で取り扱う情報を含む）の一元管理
- 不正改造されたおそれがある遊技機の特定と確認
- 機歴の管理による設置情報の明確化と、不正遊技機の排除

# 3. 遊技機情報センタで確認を行う情報

## (1) 基本構想に基づいて遊技機情報センタで確認を行う情報一覧

情報一覧 (スマートパチンコ及びスマートパチスロ共通)	
1	主制御・枠用チップの固有 I D 情報
2	型式を特定する情報
3	型式の製造業者を特定する情報
4	不正・重大エラー等の情報
5	出玉情報 ※次頁参照
6	台番号 (ユニット番号)
7	カード会社ID
8	統一店舗コード (店舗名)

※売上情報・設定情報等は遊技機情報センタでは確認できません。

# 3. 遊技機情報センターで確認を行う情報

## (2) 遊技機情報センター（日工組、日電協内に設置）で確認を行う出玉情報一覧



	スマートパチンコ	集計単位
1	総発射遊技球数	1営業日
2	総獲得遊技球数	
3	最大MY	
4	出玉率	
5	役物比率	
6	連続役物比率	
7	分間獲得遊技球数 (通常ベース)	
8	大当たり回数	



	スマートパチスロ	集計単位
1	総投入枚数	1営業日
2	総払出枚数	
3	最大MY	
4	役物総払出枚数	
5	連続役物総払出枚数	総累計
6	役物比率	
7	連続役物比率	
8	有利区間比率	
9	指示込役物比率	
10	役物等状態比率	
11	遊技回数	



# スマートパチンコの遊技性について

変更される内規と新仕様		
	現行機	スマパチ
① 確率 (内規変更)	1/320	1/350
② 新仕様	非搭載	搭載可
・コンプリート機能 (MY95,000個)	搭載	搭載
・遊技機情報センターでの出玉確認	なし	確認可

① 1/350にすることで、スペック設計の幅が広がり、多様性のある遊技機の開発が可能となります。

② C時短を利用した今までにない出玉の波を創出することが可能となります。

※「共通枠」について検討をおこなってまいりましたが、規則上、実現は困難との結論にいたり、共通部品化の検討も行いましたが、最終的には現行機同様、各社枠となりました。

「非磁性体の遊技球」については、ホール様でご購入いただくには高価になってしまった事、耐久性が鉄球よりも低かった事等の問題がクリアできなかったため、鉄球を使用することとしました。



# スマートパチスロの遊技性について

## 変更される内規（6.5号機基準）

	現行機	6.5号機	
		メダル機	スマスロ
① 有利区間枚数（2,400枚）	MY	差枚数	
② 有利区間ランプ	必須	任意	
③ 有利区間ゲーム数	1,500G～3,000G	4,000G	無制限
・コンプリート機能（MY19,000個）	なし	搭載	
・遊技機情報センタでの出玉確認	なし	確認不可	確認可

- ① 有利区間2,400枚をMY管理から差枚数管理に変更【メダル・スマスロ共通】  
有利区間中の使用した遊技メダルを取り戻す期待感を持たせることが可能となります。
- ② 有利区間であることを明示するルール（有利区間ランプ）を廃止【メダル・スマスロ共通】  
スペックによっては、ランプ点灯→消灯により、演出の切れ目が発生してしまうため、より液晶等の演出を活かした演出設計が可能となります。
- ③ 有利区間ゲーム数の延長【メダル機】及び廃止【スマスロ】  
一の有利区間のゲーム数が長くなることにより、自由度の高いAT機の特性をより活かしたスペック設計が可能となるため、現行機より、奥深いゲーム性の実現が可能となります。  
特にスマスロについては、ゲーム数の制限がなくなることから、2400枚の差枚数管理を最大限に活かせるため、より一層スペック設計の幅が広がります。



# 専用ユニットについて

## (1) 既存機との構造・機能の相違点 (PSA・認証協 共通)

分類	項目	既存CRユニット	既存カード式メダル貸機	スマート遊技機専用ユニット
構造	形状	40mm台間機、左置き	100mm台間機、右置き	40mm共有タイプが基本 当面左記両タイプあり
	玉切りメカ/メダルホッパー・ノズル	認証協の全機種、PSA の各台計数タイプに搭載	全機種に搭載	無し
	玉（メダル）計数機構	各台計数タイプに搭載		無し
	主制御基板	各社オリジナル設計		全社・全機種にSC基板搭載
	遊技機接続I/F	遊技機とPIFケーブル接続	無し	遊技機と専用PIFケーブル接続
	ホールコンI/F	パルス出力		HC-BOXにシリアル出力
	管理コンピュータI/F	シリアル通信またはLAN		
	会員システムI/F	シリアル通信またはLAN		
	紙幣識別機	有り（必須ではない）		
	操作・表示部	タッチ液晶のほか、メカ式ボタン&7セグLEDタイプあり		大半操作はタッチ液晶で行う
	カード投入口・R/W	有り		
機能	入金	紙幣の金種識別		
	貸出	25個単位貸出信号出力と端数等のノズル 払出併用	遊技メダルの物理的払出	専用PIF通信による払出数データの送信
	貯玉・メダル再プレイ			
	持ち玉・メダル払出	遊技球の物理的な計数	遊技メダルの物理的な計数	専用PIF通信による計数値データの受信
	持ち玉・メダル計数			
出玉情報等中継	無し		遊技機からデータ受信、日工組・日電協センターへ中継	



# 専用ユニットについて

※別紙資料：「スマート遊技機システム構成図」参照

## (2) システム・コストの相違点【スマパチ・スマスロ 共通 PSA】

大分類	小分類	CRユニット・メダルサンド	スマート遊技機専用ユニット	備考
システム	ホール内システム	管理サーバにて売上および持ち玉データを管理	左記に加え出玉情報等を遊技機情報センタに中継する機能、計数情報をデータで受信する機能	専用ユニット対応システムは既存CRユニット・カード式メダル貸機の混在OK
	ネットワーク	店舗～売上管理センタ間接続はINS回線、ADSL回線、光回線	店舗～売上管理センタ間接続は、原則、光回線	ホール内通信インフラは変更無し
コスト	① ユニット改造費	-	改造費が新規販売価格を超えない機種が対象（機種によって改造費に幅がある）	工事費・作業費は別途 製造終了部品採用の古い機種は改造不可
	① ユニット本体	多様なグレード、ラインナップ（10万円以下～20万円近くまで）	現行CRユニットと同等を目標	ユニット会社の営業施策により変動 ※原材料費高騰の影響が避けられないが最大限努力する
	② 付帯コスト	特になし	管理コンピュータのバージョンアップが必要	
	③ 通信費	使用回線種別や通信データ量により変動するが、凡そ毎月数万円程度	従来通り（ホール様負担） 光回線の導入費用（未導入の場合）	光回線未カバー地域への対応は各ユニット会社にお問い合わせください
④ システム料	概ね10数万円～30万円の範囲（カード会社ごとに決済方法、料金体系の相違はある）	現行カードシステムと同等、もしくは若干のプラスαの可能性	ユニット会社の営業施策により変動（各社にお問い合わせください）	



# 専用ユニットについて

## (2) システム・コストの相違点【スマパチ・スマスロ 共通 認証協】

大分類	小分類	CRユニット・メダルサンド	スマート遊技機専用ユニット	備考
システム	ホール内システム	売上管理装置及び売上管理サーバーによるシステム	遊技機性能情報送受信対応売上管理サーバーに変更、その他は現行と同一	システムの情報保全、可用性、拡張性を考慮しサーバー化
	ネットワーク	INS回線を用いた売上管理センター接続を行う	光回線接続を用いた売上管理センター及び上位センター接続を行う	常時センター接続、光回線を標準回線とします。
コスト	① ユニット改造費用	-	60,000～100,000円 *新規購入金額を超えない範囲（※1）	工事費は別途
		① ユニット本体	120,000円～230,000円 *基本的な提示価格	200,000円前後 *あくまでも予定価格
	② 付帯コスト	特になし	月額：28,000～35,000円 （管理サーバーのみのプランもしくは光回線とセットのプラン）	ネットワーク変更に伴うサーバーレンタル及び回線サービスの実施。
	③ 通信費	ホール様ご負担（INS回線にて月額平均8,000～10,000円程度）	ホール様ご負担のプランと、付帯コストに含まれるプランがあります。	セキュリティ観点及びシステム保全の観点から回線サービスのご利用を推奨します。
④ システム料	月額：台当たり200円（全日加盟ホール）	月額：台当たり200円（全日加盟ホール）	-	-

※1 認証協 i クリアユニットは、玉切り機構やノズルが搭載されており、改造可能な機種は限定されることをご理解願います。  
また、改造に関わる費用については、安価に抑えられるように努力はしておりますが、電子部品の高騰など時勢により変動する事もご理解頂きます様お願い申し上げます。



## スマート遊技機による効果および将来展望

## 『スマート遊技機』が業界へ与える効果

『スマパチ・スマスロ』は、社会と業界の今抱える課題に大きく貢献できる遊技機です。

### 依存対策

市場の出玉情報を一元的に集約することで、国が課題として掲げる**依存防止**に対して寄与。

### 感染症対策

遊技者・ホールスタッフによる玉・メダル接触がなくなるため、現在よりもさらに**清潔・クリーンな遊技空間**を提供。

### 環境向上

騒音の元となる循環システムの玉の接触音や、メダル払出時の接触音が一切なくなり、さらに遊技機音量を下げて運用できるため、**遊技環境・労働環境が大きく改善**。

### 省エネ

スマスロの場合、セレクト・ホッパーの削除により約2kgの**重量の削減**が可能。また、玉循環システム等大型設備が不要となり、**ホールの消費電力が大幅に削減**。

### コスト削減

玉・メダルの持ち運びや洗浄などが不要になり、**ホールスタッフの負担が大幅に軽減**。また、循環システム等の設備スペース削減により、**坪効率が改善**。結果的に**ホール運営コストの削減**。

### 不正撲滅

いまだ事案の絶えない糸付き玉ゴト、クレマンや玉・メダル持込ゴトなどが撲滅できるため、**不正行為からホールを守り**、ひいては**ファンの方々に適正に還元**。

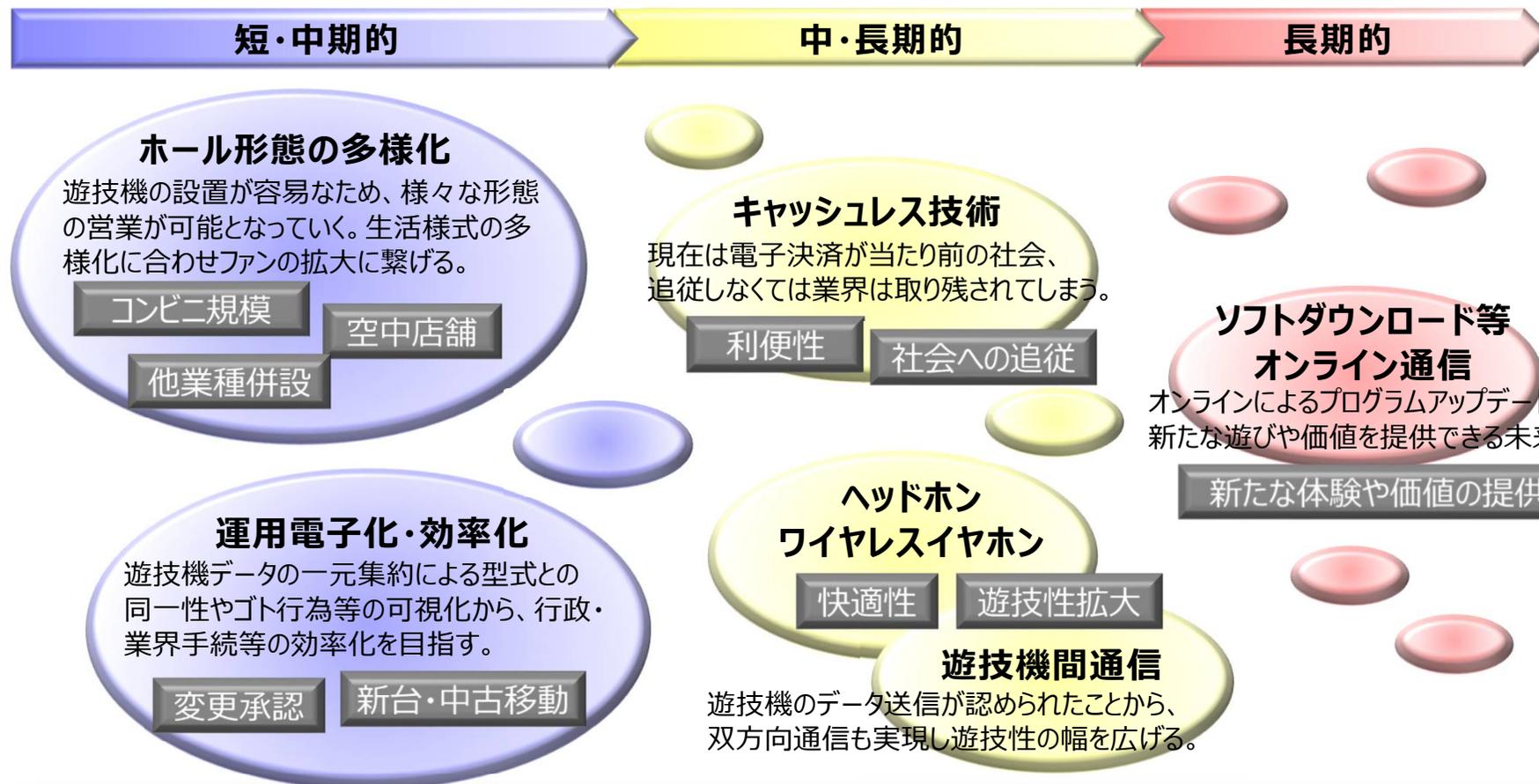
### 遊技性向上

スマパチ・スマスロ推進のため、従来機と差別化が可能な新たな遊技性を搭載。遊技の快適性に加え、**遊技者やホールの皆様により満足頂ける遊技機が提供可能**。メダルの投入が不要となるため、**稼働効率も改善**。

これらのメリットを兼ね備えたスマート遊技機の普及は、業界の発展に寄与

# 『スマート遊技機』からの業界展望・将来像について

設置が容易かつセンタ通信が可能な『スマート遊技機』を、業界の将来を考える契機としたい。



業界発展のため、社会や技術の変化に追随し、皆様のニーズを満たす努力を継続



# スマート遊技機導入マニュアルについて

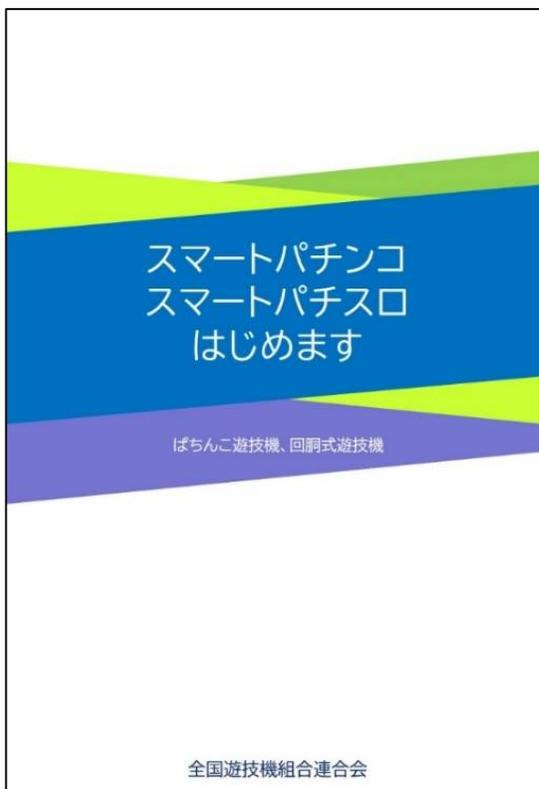


# 導入マニュアル



【作成趣旨】

スマート遊技機の導入にあたり、ホール様で混乱することのないよう、スマート遊技機と現行機との違いや、スマート遊技機を導入する上で必要となる各種設備や作業工程、簡単なトラブルシューティングをまとめた導入マニュアルを、全機連として作成いたしました。



## ■ 導入マニュアルの記載内容

### ○用語の説明

- ・スマパチとスマスロで使用される機器の用語

### ○スマパチとスマスロ

- ・スマパチ スマスロ導入のメリット
- ・スマパチ・スマスロとは
- ・遊技方法（スマパチ）
- ・遊技方法（スマスロ）

### ○設置について

- ・スマパチ・スマスロの設置
- ・①専用ユニット
- ・②HC-BOX
- ・③呼出ランプ、紙幣搬送システム、島設備
- ・④遊技機情報センター

### ○資料編

- ・スマパチ・スマスロに関する質問集 1
- ・スマパチ・スマスロに関する質問集 2
- ・トラブルシューティング
- ・製造番号（スマパチとスマスロ）
- ・取扱いメーカー
- ・全国遊技機組合連合会 加盟団体一覧



# 導入マニュアル



## ○用語の説明

### スマートパチンコ (ぱちんこ遊技機)

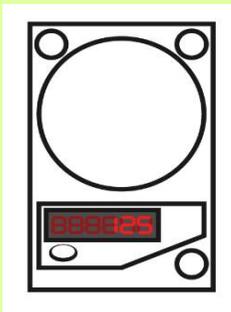
現状のCRユニットと接続するぱちんこ遊技機と同じ“遊技機の種類”に属し、遊技球を遊技盤に打ち出すことにより遊技を行うものです。

従来機(※)との違いは、遊技球数表示装置を備えており、遊技機内に遊技球が封入されて循環することで、お客様が遊技球に直接触れることなく電子情報で遊技ができること、性能情報、設置情報、不正・エラー情報〔以下「出玉情報等」〕を遊技機情報センターに送信する機能を有していることが挙げられます。上記に伴い、遊技機を構成する部品の削減や変更があります。

※従来機(ぱちんこ遊技機)

貸出球・賞球が、外部に遊技球として物理的に行われるもの。情報を遊技機情報センターに送信する機能はありません。

【愛称】スマパチ



### スマートパチスロ (回胴式遊技機)

現状の回胴式遊技機と同じ遊技機の種類に属し、回転させたリールを止めることにより遊技を行うものです。

従来機(※)との違いは、遊技メダル数表示装置を備えており、物理的な遊技メダルを使用せず、“電子情報”で貸出を行い遊技するため、お客様が直接遊技メダルに触れることなく遊技ができること、出玉情報等を遊技機情報センターに送信する機能を有していることが挙げられます。上記に伴い、遊技機を構成する部品の削減や変更があります。

※従来機(回胴式遊技機)

物理的な遊技メダルにより、遊技を行うもの。情報を遊技機情報センターに送信する機能はありません。

【愛称】スマスロ



### 専用ユニット

スマパチとスマスロに接続する専用のユニットで、現状のCRユニットやメダルユニットと同じく、遊技球や遊技メダルを貸し出す等の役割を担っております。

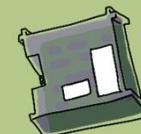
CRユニットやメダルユニットは、ユニットから直接もしくは遊技機を介して間接的に遊技球・遊技メダルを貸し出す形態となっておりますが、専用ユニットでは、遊技球・遊技メダルを電子データとして、スマパチ・スマスロ側に送信し、貸出を行います。



### HC-BOX (イイチボックス)

従来機に搭載されていた外部接続端子板に代わるものです。

専用ユニットとホールコンピュータ(台ランプ)に接続し、ホールコンピュータに各種情報を出力する為のシリアル/パルス変換の機能があります。





# 導入マニュアル



## ○スマパチ・スマスロ 「スマパチ・スマスロ導入メリット」

### ■ 感染症対策強化

お客様が遊技球、遊技メダルに触れることなく遊技できるため、感染症対策の強化につながります。

### ■ ゴト行為の撲滅（セキュリティ強化）

#### ◀共通▶

- ・なりすまし基板等による不正の防止  
(CPUの固有 I D 番号を照会)

#### ◀スマパチ▶

- ・ピアノ線ゴト、セルゴト、くぎ曲げゴト、磁石ゴトの防止  
(従来機と同等以上のセキュリティ)
- ・遊技球の持ち込みゴト、糸付き球ゴトの撲滅

#### ◀スマスロ▶

- ・ホッパー、セレクターの不要による、投入、払出系のゴト行為の撲滅
- ・遊技メダル持ち込みゴトの撲滅
- ・なりすまし基板等による不正の防止 (CPUの固有 I D 番号を照会)

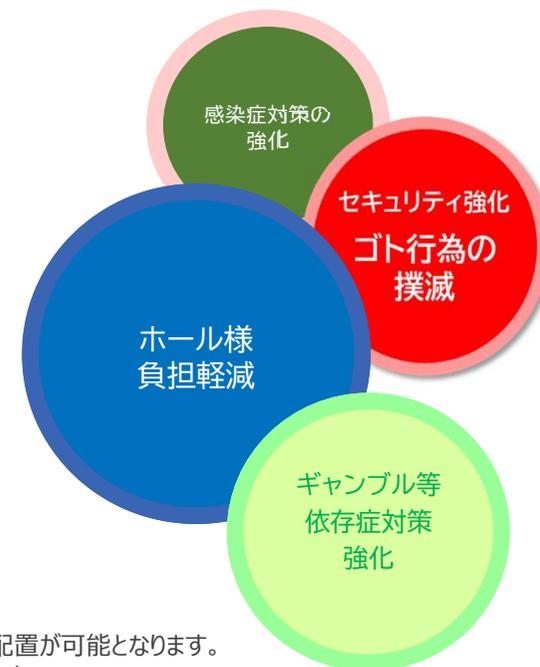
### ■ ホール様の負担軽減等

遊技球、遊技メダルが無くなるため、玉箱の上げ下げや計数作業がなくなりますので、従業員の方々の“作業的”な負担軽減が見込めます。  
また、ゴト行為への監視の負担も少なくなりますので、従業員の方々がより一層お客様へのサービスに注力する事ができ、従業員の方々の適正配置が可能となります。  
その他、遊技球の循環設備が不要となりますので、新規店ではイニシャルコスト、既存店においてはランニングコスト等、“費用面”でもホール様に貢献できます。

### ■ ギャンブル等依存症対策強化

スマパチ・スマスロは、出玉情報等が遊技機情報センターで一元的に管理されることで、市場に設置されている遊技機が型式どおりの遊技機であるかどうかを確認し、射幸性が過度に高まることを防止することが可能となります。

将来的には、適正な遊技環境の提供等について、ご提案することも検討しております。





# 導入マニュアル



## ○設置について「スマパチ・スマスロの設置」

### 基本仕様

スマパチ、スマスロをホール様で使用可能（貸出し）にするには、「専用ユニット」他、新たな機器が必要となります。

### 【はじめに】

スマパチ・スマスロ導入当初は、各機器の設置作業が立込む事が想定されますので、ご購入いただく際には、ユニット会社及び設備機器メーカーとの作業日程の調整をお早目に実施していただきますようお願いいたします。

※島設備の変更や各機器の取付作業、通信テスト等に最短1～2日かかるため、店休日のご検討をお願いいたします。

### 【基本的な流れ】

新規導入及び増設時の例

- ① 専用ユニットの設置
- ② 紙幣搬送システムの設置  
(原則、既存の設備が使用できます。)
- ③ HC-BOXの取付け
- ④ ホールコンピューターとの接続
- ⑤ 呼出ランプとの接続
- ⑥ 管理コンピューターとの接続
- ⑦ 遊技機の設置

※ 遊技機の入替え、修理交換時は別の対応になります。

※ 各メーカーにより、取付けの順序は異なります。

### 【動作確認】

遊技球及びメダルが無い為、設置時の動作確認は、以下の方法でご確認いただく事になります。

- ① 閉店後の場合は、専用ユニットのメンテナンスモード（※）にて貸出しを実施
- ② 営業中の場合は、試打用にビジターカード（※）を発行して貸出しを実施
- ③ 現金にて貸出しを実施

※ユニット会社により名称は異なります。

《重要》ISDN回線及びADSL回線をお使いの場合、原則、光回線への変更が必要になります。



# 導入マニュアル



## 基本仕様

ホール様

NEW

スマパチ  
スマスロ

NEW

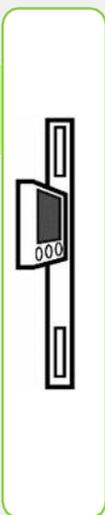
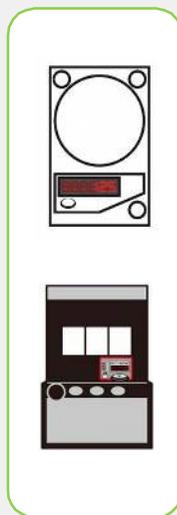
専用ユニット

NEW

HC-BOX

呼出ランプ

ホールコンピューター



アウト・セーフ売上情報等

持ち球(メダル)情報

紙幣搬送システム

変更

管理コンピューター

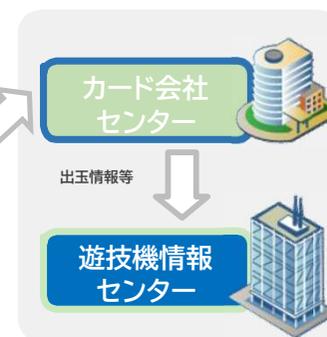
売上情報(既存のもの)  
出玉情報等

売上情報(既存のもの)  
出玉情報等

### 【出玉情報等の送信】

ホール様の管理コンピューターから、カード会社センターへの送信は、不正・エラー情報はリアルタイムに、性能情報は閉店処理後に行われます。

※遊技機情報センター（日工組、日電協）により、管理する情報が一部異なります。



《カード会社》  
ホール様のご使用されている機器に応じて送信されるセンターは異なります。

《遊技機情報センター》



# 導入マニュアル



## ○資料編「トラブルシューティング」

症状	確認方法
貸し出しができない。	遊技機と専用ユニット間のケーブルが接続されているか確認してください。
	遊技機の持ち球、持ちメダル数が一定数を超過しているか確認してください。超過している場合は計数をしてください。 専用ユニットにエラーが表示されている場合は、ユニットエラーガイドンスにそって対処してください。 持ち球、持ちメダル数の上限につきましては、各社により異なりますので、遊技機メーカーの、「取扱説明書」、「ユーザーマニュアル」等にてご確認ください。
スマパチの発射ができない。 スマスロのスタートレバーを押下しても遊技ができない。	遊技機と専用ユニット間のケーブルが接続されているか確認してください。
	専用ユニットの電源が入っているか確認してください。
	遊技機と専用ユニットの電源を入れた後、遊技機の電源が切れると通信エラーとなり、遊技できません。 専用ユニットの電源を再投入するか、専用ユニットのエラーを解除してください。
遊技機の情報ホールコンピューターや呼出ランプにとどかない。	専用ユニットとHC-BOX、HC-BOXとホールコンピューターや呼出ランプへのケーブルが接続されているか確認してください。
	専用ユニット及びHC-BOX、ホールコンピューターにエラーが出ていないかご確認ください。 なお専用ユニット及びHC-BOX、ホールコンピューターのエラー表示については、それぞれの機器の「取扱説明書」等をご覧ください。



# 導入マニュアル



## ○資料編「製造番号（スマパチとスマスロ）」

日本遊技機工業組合（日工組）

	ばちこ遊技機			回胴式遊技機	
	従来機	スマパチ		従来機	スマスロ
証紙・製造番号（遊技盤用） （上・新台用 下・遊技盤用）			証紙・本体製造番号		
	XX-X 000000	XX-X M000000		※番号のハッダ部が一部異なります。 （従来機：K、スマスロ：C）	
				XX-X K000001	XX-X C000000
	XX-X 000000	XX-X M000000			
主基板番号			主基板番号		
	XX-X 000000	XX-X M000000		XX-X K000000	XX-X C000000
制御部	<該当無し>	各社作成	メダル数制御部	<該当無し>	各社作成
		XX-X M000000			XX-X C000000
封印シール			封印シール		
	X0000000（8桁）			X0000000（8桁）	
枠番号			分離式筐体		
	XX-X 000000	XX-X M000000		XX-X K000000	XX-X C000000

日本電動式遊技機工業協同組合（日電協）

	回胴式遊技機	
	従来機	スマスロ
本体製造番号		
	1X-6-000/000000	1X-A-00/000000
	※券面の色が異なります。 ※また、番号のハッダ部が一部異なります。 （例）従来機：1S-6-001、スマスロ：1S-A-001	
主基板番号		
	見本	見本
	XX00/00000	
メダル数制御部	<該当無し>	各社作成
		XX00000000
封印シール		
	00000000（8桁）	
分離型		
	回胴部	筐体部
	※各社作成	

※番号は例です。メーカーコードは各社異なります。

※日工組の証紙は従来機と共通のものを使用します。

※日電協の主基板番号かき使用記録は、従来機と共通のものを使用します。

※枠・メダル数制御基板のシールは、メーカー各社が作成する為、デザインは各社異なります。なお、管理番号については、団体ごとに番号体系の指定があります。

※封印シールは、従来機とスマパチ・スマスロと共通のものを使用します。  
なお、枠・メダル数制御基板には貼付しません。  
（メーカーによっては、メーカーオリジナルシールを貼付する等、個別の対応をしている場合があります。）



# スマート遊技機 ホール全体説明会



# ホール全体説明会



- |      |   |
|------|---|
| 開催名称 | ▶ 「スマート遊技機・ホール全体説明会」  |
| 開催日時 | ▶ <b>2022年7月19日（火）16:00～開始予定</b><br>（15:30～参加者受付/タイトル視聴開始）  |
| 開催形態 | ▶ <b>リアル+オンライン配信のハイブリッドでの開催</b><br>※オンライン配信のプラットフォームはZoomウェビナーを想定   |
| 開催会場 | ▶ <b>東京ドームホテル（B1F／天空の間）</b>   |
| 主催   | ▶ 日本遊技機工業組合<br>日本電動式遊技機工業協同組合<br>一般社団法人 プリペイドシステム協会<br>一般社団法人 電子認証システム協議会   |
| 来場者  | ▶ <b>&lt;リアル招待／約200名&gt;</b><br>ホール4団体執行部（全日遊連/各県遊協/日遊協/MIRAI/余暇進）<br>21世紀会各団体執行部<br><b>&lt;リモート招待／ZOOMウェビナー最大10,000名&gt;</b><br>全国遊技産業関係者・ホール店舗責任者 |